

「動物販売業者等定期報告届出書」記載例

販売業・貸出業・展示業・譲受飼養業（動物販売業者等）について、前年度の1年間に取り扱った動物の頭数について報告することが義務付けられています。

前年の4月1日から本年3月31日までに取り扱った動物の数を記載し、動物愛護相談センターへ郵送、窓口への提出または電子申請サービスにより提出してください。（提出期間は毎年4月1日から5月30日まで。）

- ・動物の取扱実績がない場合（ゼロ）でも、その旨を記載してください。
- ・営業に用いる動物の数を記載してください。
（ご自身がペットとして飼育する動物の数は含みません。）
- ・帳簿に記載されている事項をもとに記載してください。
- ・この届出書は、提出前にコピーを作成し、お手元に控えとして保管してください。

動物販売業者等定期報告届出書の提出先

区部・島しょ部の事業者
東京都動物愛護相談センター
〒156-0056 世田谷区八幡山2-9-11
電話番号 (03) 3302-3507(番号案内1)

多摩地域の事業者
東京都動物愛護相談センター多摩支所
〒191-0021 日野市石田192-33
電話番号 (042) 581-7435

様式第11の2（第10条の3第1項関係）

令和 ○年 4月 1日

（記載例・おもと）

東京都知事 殿

届出者 氏 名 **（株）東京都庁 代表取締役 東京太郎**
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
住 所 **〒163-8001**
東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
電話番号 **(03)5432-0000**

動物販売業者等定期報告届出書

動物の愛護及び管理に関する法律第21条の5第2項の規定に基づき、下記のとおり届け出ます。

記	
1 事業所の名称	Center 動物愛護
2 事業所の所在地	〒156-0056 東京都世田谷区八幡山二丁目9番11号センタービル101
3 登録年月日	令和 ○年 6月 1日
4 登録番号	□□東京都販第○○○○号

1 欄から4 欄については、登録証に書かれている事項を記載してください。

(記載例・うら)

5 年度当初に所有していた動物の合計数
・・・①

犬： 7 頭、猫： 頭、
その他哺乳類： 10 頭、
鳥類： 羽、爬虫類： 50 頭

犬猫以外は、その他の哺乳類、鳥類、爬虫類のそれぞれの合計数を記載してください。
4月1日にあらかじめ所有していた動物数を記載してください。

4月1日に仕入れ、又は産まれた数は、6欄の4月の合計数に計上してください。
(卵は含まれません。)

6 年度中に新たに所有するに至った動物の月ごとの合計数

4 月 5 月 6 月 7 月

犬 4
猫
その他哺乳類 6
鳥類
爬虫類 15

6 欄合計数 ②

(4月-3月の動物の合計数)

10 月 11 月 12 月 1 月 2 月 3 月
犬 2 5
猫
その他哺乳類 8 9
鳥類
爬虫類 14 8

11
0
23
0
37

仕入れた動物の他に、産まれた動物、繁殖親として導入した動物等、新たに所有した数を月ごとに記載してください。

7 年度中に販売若しくは引渡しをした動物の月ごとの合計数

4 月 5 月 6 月 7 月 8 月 9 月
犬 3
猫
その他哺乳類 5 3
鳥類
爬虫類 18

7 欄合計数 ③

(4月-3月の動物の合計数)

10 月 11 月 12 月 1 月 2 月 3 月
犬 4 5
猫
その他哺乳類 3 10
鳥類
爬虫類 10 14

12
0
21
0
42

販売した数以外に、譲渡した数、貸出し・展示・繁殖を引退した数、導入した動物を系列店舗(別事業所)に移動した場合等も、ここに記載してください。

8 年度中に死亡の事実が生じた動物の月ごとの合計数

4 月 5 月 6 月 7 月 8 月 9 月
犬
猫
その他哺乳類 3
鳥類
爬虫類 3 1

8 欄合計数 ④

(4月-3月の動物の合計数)

10 月 11 月 12 月 1 月 2 月 3 月
犬 1
猫
その他哺乳類 2
鳥類
爬虫類 2 1 1

1
0
5
0
8

9 年度末に所有していた動物の合計数

犬： 5 頭、猫： 0 頭、その他哺乳類： 7 頭、
鳥類： 0 羽、爬虫類： 37 頭 (＝①＋②－③－④)

() 内の式に従い、動物種ごとに数の確認をお願いします。

【なお、この9欄の数は、翌年度の届出の際には5欄の数になります】

10 犬猫以外の動物に含まれる品種等

その他の哺乳類、鳥類、爬虫類に含まれる品種等を記載してください。

11 備考